

≪茅野市の状況について≫

1 市内小学校に通う児童数について

市内児童数の推移

R 6.5.1時点

年度	R06 (2024)		R07 (2025)		R08 (2026)		R09 (2027)		R10 (2028)		R11 (2029)		R12 (2030)		R12とR6の対比	
	クラス数	児童数(人)	クラス数	児童数(人)	クラス数	児童数(人)	クラス数	児童数(人)	クラス数	児童数(人)	クラス数	児童数(人)	クラス数	児童数(人)	児童数(人)	減少率(%)
永明小	18	520	17	485	17	481	16	440	16	431	16	437	15	424	-96	-18.5
宮川小	21	664	21	658	20	628	19	596	19	590	17	539	17	517	-147	-22.1
米沢小	10	238	10	229	10	229	10	221	9	213	8	202	7	175	-63	-26.5
豊平小	9	210	8	202	8	201	7	186	6	184	6	174	6	174	-36	-17.1
玉川小	23	646	22	617	21	591	20	557	19	526	18	515	17	469	-177	-27.4
泉野小	6	83	6	71	6	69	6	64	6	58	6	58	6	52	-31	-37.3
金沢小	6	99	6	93	6	81	6	72	6	69	6	67	6	60	-39	-39.4
湖東小	8	194	7	187	7	177	7	178	6	160	6	154	6	151	-43	-22.2
北山小	6	115	6	106	6	103	6	88	6	86	6	71	6	66	-49	-42.6
合計	107	2,769	103	2,648	101	2,560	97	2,402	93	2,317	89	2,217	86	2,088	-681	-24.6

- ・市内児童数の推移（住民登録者を基に独自に推計）から、令和12年度には、令和6年度と比べ市内全体で約680人、24.6%児童が減る見込みとなっています。
- ・令和12年度までに一部の学校では1学年の児童数が10人を下回ると予想されています。
- ・学校規模により「教育環境が異なること」が心配されています。

2 小学校の建て替えについて

現在の学校を50年周期で建て替えた場合

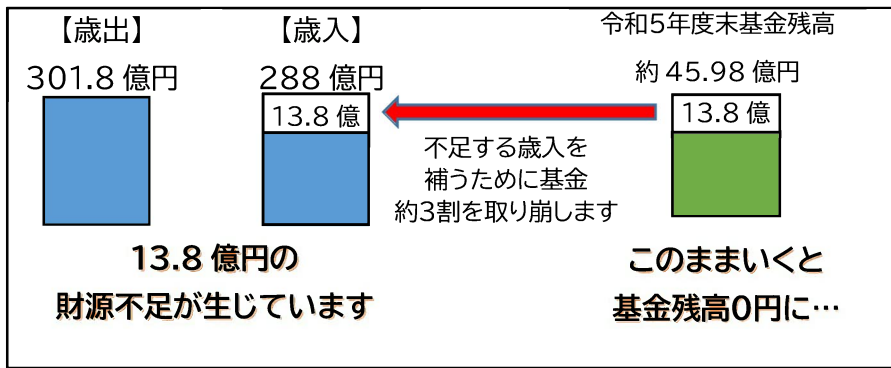
学校名	年 建築年	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
		(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	(2032)	(2033)	(2034)	(2035)	(2036)	(2037)
永明小学校	R6(2024)													
宮川小学校	S51(1976)													
米沢小学校	S56(1981)													
豊平小学校	S58(1983)													
玉川小学校	S54(1979)													
泉野小学校	S57(1982)													
金沢小学校	S55(1980)													
湖東小学校	S57(1982)													
北山小学校	S60(1985)													

第1次茅野市小中学校管理計画（案）からの抜粋。色が付いている部分が建て替え時期となります。

- ・昭和50年代に建てられた学校が多く、建築後40年以上経過する学校もあり、老朽化が大きな課題となっています。
- ・建築後50年で建て替えをした場合は、上の表のとおり、年間複数校の建て替え実施期となり、厳しい財政負担が予想され、次世代への大きな負担となってしまいます。
- ・建て替えやリノベーションの計画は、学校数の編成等により大きく変わることがあります。

3 茅野市の財政状況について

令和6年度の予算の状況



- ・家計で言うと、収入（歳入）より支出（歳出）が大きくなり、赤字となっています。赤字を埋めるために貯金（基金）を取り崩しています。
- ・現在の状況が続くと令和8年度には貯金（基金）がなくなり、今まで通りの住民サービスの提供が出来なくなってしまいます。

4 学びのあり方(茅野市の教育)について

茅野市教育の考え方

- ◎「生きる力」を育む
- ◎茅野市教育が目指す姿「たくましさ やさしさ 夢のあるひと育ちの茅野市教育」

当市は、市民一人ひとりが心身ともに健康で、人と人とのつながりのなかで、お互いの個性を認め合い、その人らしい生きがいや人生への夢を持ち、「生きる力」を共に育む“たくましさ やさしさ 夢のあるひと育ちの教育”を目指しています。「ことばと心を育てる読書・図書館教育」や「縄文市民科の探究的な学び」は、全国的にも評価を受けている教育活動です。

また、「みんな同じ」から「一人ひとりの多様性と力を伸ばす」教育へ取組を進め、令和6年度から「縄文のビーナスプラン①」を基調として、一人ひとりの個性を光らせる教育を進めています。

こうした茅野市の教育の考えを変えることなく、学校再編により、それぞれの学区で小中一貫教育をより進め、特色ある教育活動を『「縄文のビーナスプラン推進会議」～これからの学びのあり方～』で検討してまいります。

5 今どんなことを考える必要がある？

児童数の減少によって、学校規模による教育環境が異なることが心配され、校舎の老朽化に伴う建て替えや修繕の費用が大きな負担となっています。子どもや孫など次世代の負担を減らすためには、教育の質を落とすことなく、学校数や維持管理費を適切な状態にすることで、持続可能な学校教育を目指す必要があります。

しかし、学校の機能は教育的観点だけでなく、地域の防災拠点やコミュニティの核としての機能を併せ持っており、教育環境・学びのあり方・子ども達への配慮・地域との連携・財政状況等、茅野市全体の教育と子どもたちの未来を総合的に考え検討することが大切です。

【これからの学校のあり方に係わる保護者アンケート】

以下の設問にお答えください。

問 1 お住まいの小学校区はどちらですか。次の①～⑨のうち 1 つを選んでください。小学校区が不明な場合は、お住まいの行政区(例:茅野市塚原 2-6-1 の場合は「塚原」)を⑩に記入してください。

- ① 永明小学校区 ② 宮川小学校区 ③ 米沢小学校区 ④ 豊平小学校区 ⑤ 玉川小学校区
⑥ 泉野小学校区 ⑦ 金沢小学校区 ⑧ 湖東小学校区 ⑨ 北山小学校区 ⑩ その他 ()

問 2 お子さんの学年を教えてください。お子さんの学年に当てはまる番号を全て選んでください。

- ① 就学前 ② 小1～小3 ③ 小4～小6 ④ 中1～中3

問 3 「市内の小学校数や在校児童数を編成し直すこと」についてどのように思われますか。次のうちから 1 つを選んでください。

- ① したほうがよい
② することはやむを得ない
③ しないほうがよい
④ その他 ()

問 4 問3で選択した理由を、次のうちから 1 つを選んでください。

- ① 人数が多いことで、集団の中で、多様な考えに触れ協力し合い切磋琢磨する機会が多く、社会性や、協調性、たくましさなどを育みやすい。
② 人数が多いことで、運動会・音楽会などの学校行事の集団教育活動に活気が生まれ充実する。
③ 児童数・教員数が多いため、教科担任制などの多様な学習・指導形態をとりやすい。
④ 人数が少ないことで、意見や感想を発表する機会や児童会の役員を務めるなど経験を積む機会が多くなりやすい。
⑤ 人数が少ないことで、体育館や特別教室等を必要に応じて利用しやすい。教材・教具など一人当たりの割り当てが多くなりやすい。
⑥ 人数が少ないことで、教員が児童一人ひとりの学習状況を把握しやすく、きめ細やかな指導を行いやすい。
⑦ 学校ごとの歴史や特性を継続したほうがよい。
⑧ 学習環境が変化することが不安。環境が変わることで児童への負担が大きい。
⑨ 登下校時の安全面や送り迎えなどの負担が心配。
⑩ 学校と保護者や地域との連携が取りづらくなれないか心配。
⑪ 地域が過疎化しないか心配。
⑫ 校舎の老朽化に伴う建て替えや修繕費用の負担が大きく、市の財政を圧迫するため。
⑬ その他 ()

問 5 教育委員会では、多様な価値観に触れるためにもクラス替えは重要であり、1学年2～3学級を最小の学校の規模として考えています。小学校の1学年における学級数で望ましいと思われる学級数を、次のうちから1つ選んでください。

- ① 1 学年当たり 1 学級
- ② 1 学年当たり 2 学級
- ③ 1 学年当たり 3 学級
- ④ 1 学年当たり 4 学級以上

問6 徒歩による通学は、児童の基礎体力の向上が期待されています。一方で、小学校数や在校児童数を編成し直した場合、現在の通学時間が長くなる場合があります。お子さんが徒歩による通学が可能だと思う範囲を、次のうちから1つ選んでください。

- ① 15 分以内
- ② 30 分以内
- ③ 45 分以内
- ④ 1 時間以内
- ⑤ 1 時間より長い

問7 遠い学校に通うことになった場合、お子さんが通学をするために、どの方法が最適だと思いますか。次のうちから1つ選んでください。

- ① スクールバス
- ② 公共交通のバス
- ③ 自家用車で送迎
- ④ 自転車
- ⑤ 徒歩
- ⑥ その他 ()

問8 これからの学校のあり方についてご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。

また、今後皆様のご意見をお伺いする機会として「地域対話」を設ける予定です。